

1. Course Description

学校保健の基礎的な知識と公衆衛生学の知識と関連させてみにつけることを目的とします。
ディプロマポリシーとの関連では、①に該当します。また、保健体育教職の必須科目でもあります。

2. Course Objectives

学生は以下のことができることを目指します

- ① 柔整国家試験の学校保健と公衆衛生の過去問をすべて解くことができます。
- ② 学校保健にかかわる子供の健康に関するトピックを仲間に説明ができます。
- ③ 学校保健の基礎知識について説明することができます。

3. Grading Policy

レポート 55点 試験45点で評価します。授業中にフィードバックを行います。

4. Textbook and Reference

Textbook

参考書

1年のときに利用した公衆衛生学テキスト

Reference

教員養成系大学保健競技会編 学校保健 ハンドブック ISBN978-4-324-08849-4 c3037 ぎょうせい

5. Requirements(Assignments)

事前学修として 子供の健康に関する新聞記事を読み、A4用紙1枚に毎回まとめてください。必要な時間は、毎回2時間以上かけて丁寧に新聞を読み、記述してください。

事後学修として、指示する柔道整復師国家試験の過去問題から関連する問題を調べノートにまとめてください。毎回1時間

6. Note

7. Schedule

- | | | |
|------|-----------------|----------------|
| [1] | 学校保健と公衆衛生 | 学校保健の目的と内容 |
| [2] | 公衆衛生の問い | |
| [3] | 健康診断 | |
| [4] | 学校安全と応急手当 | |
| [5] | 精神の健康 | |
| [6] | 障害のある児童・生徒と | 健康 合理的配慮 |
| [7] | 児童・生徒の発達と健康 | |
| [8] | 児童・生徒の健康障害とその指導 | |
| [9] | 学校における性と健康 | |
| [10] | 保健学習と公衆衛生 | ①現代社会と健康 |
| [11] | | ②生涯を通じる健康 |
| [12] | | ③社会生活と健康 |
| [13] | 中間試験と解説 | (柔整 公衆衛生学試験から) |
| [14] | 学校環境衛生 | |
| [15] | 学校感染症 | まとめ試験と振り返り |